

## 平成元年から九年末までに通讀

(凡例)

著者、『書名』出版年、出版者。(讀了日を示す整理記號)

副題および。内容概要。

その他。

### 平成元年

### 平成二年

### 平成三年

水上洋子『恋愛コレクション』(03-02-28)

井田真木子『温泉藝者一代記』平成元年、かとう書房。(03-10-11)

井上章一『美人研究・女にとって容貌とは何か』平成三年、河出書房新社。(03-10-13)

### 平成四年

ジョン・スミス著、羽林泰譚『トル・ラブ』昭和五十八年、富士見書房。(04-02-22)

井上章一『美人論』平成三年、リブレポート。(04-02-23)

林美一『江戸艶本を讀む』昭和六十二年、新潮社。(04-02-28)

## 平成五年

李敖著 土屋英明譯『中國文化とエロス』平成五年、東方書店 (05-06-04)

## 平成六年

## 平成七年

倉橋由美子『夢の浮橋』昭和四十八年、中公文庫。(07-06-25)  
小説

倉橋由美子『聖少女』昭和五十六年、新潮文庫。(07-07-02)  
なかなか難しい小説 父と娘、姉と弟の近親相姦のイメージ。

倉橋由美子『交歡』平成元年、新潮社。(07-08-18)  
四十歳の主人公、桂子は親の遺産を継いで出版社を經營してゐる。大學教授の夫が死に、その専用コンピュータ「ブレイン」の中に、夫の周りの女性とのことが記録されてゐて、満智子が夫を通して桂子を愛してゐることを知る。また、夫および出版事業を通して政治家への野望を持つ入江を知り合ひ、愛人となる。

ウイルヘルム・マイテル、佐々木尚譯『バルカン戦争』昭和五十七年、浪速書房。  
(07-09-14)  
著名なボルノ小説。一昔前のボルノ小説といふ感じ。

加藤鷹『イケない女神たち』平成六年、株式會社コスモビルズ。(07-09-22)  
性の満足を得るためには自分自身の心の扉を開くことの大切さを述べてゐる。著者はボルノ女優樹まり子の子でボルノ男優。性を通しての見据えた人生觀が出てゐる。

ノーラ・ヘイドン、馬場ゆり子譯『ノーラが贈る愛された愛しかた』。(07-12-03)  
幸せな人生には正しい營養摂取、健康な身體、豊かな空想力、正しい性生活が大切である。説いてゐる。『How to Satisfy a Woman Every Time. and Love her beg for more』

## 平成八年

サンドラ・スキヤントリング、スー・ブローダー、馬場ゆり子譯『ダイヤモンド・ラブ』  
平成八年、集英社。(08-04-14)

性の快感を特別強く感じられる「快樂の達人」について。人生の生き方に就いての本。

岡田甫『川柳末摘花註解』昭和二十六年、第一出版社。(08-04-17)

『川柳末摘花』の難解句を解説した定評のある書。後に再讀(21-09-22)。

シジョイローリー、佐和瑛子譯『シジョイ』ラブヒストリー』昭和五十九年、講談社、  
スコラ。(08-08-10)

著者はフランスのファッションモデル。告白小説とのこと。『エマニエル夫人』以来  
の話題小説とのことだが、内容はたいしたことはない。

## 平成九年

この網上葉の履歴

令和元年八月朔日、掲載。